

教科	理科	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生き物をさがそう	3	身の回りの様々な生物を比較しながらその特徴を調べる活動を通して、生物の姿や生物と環境との関わりについての理解を図るとともに、差異点や共通点を基に問題を見いだす力や、生物を愛護する態度を育成することができるようにする。	○身の回りの生物のようすを、虫眼鏡などを正しく扱いながら調べ、分かりやすく記録している。 ○生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。	○身の回りの生物に進んで関わり、他者と関わりながら生物を見付けようとしている。 ○身の回りの生物について、そのようすや周辺環境に着目して比較し、差異点や共通点をもとに考察し、自分の考えを表現している。	○身の回りの生物に進んで関わり、他者と関わりながら生物を見付けようとしている。
ものが燃えるしくみ	8	ものの燃焼のしくみについて興味・関心をもって多面的に調べる活動を通して、ものの燃焼と空気の変化とを関係づけて、ものの質的变化について推論する能力を育てるとともに、追究していく過程において、燃焼したときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現できるようにする。	○線香やろうそくなどを目的に応じて用意し、安全に正しく使って、空気の動きを調べ、適切に記録している。 ○気体検知管や石灰水などを安全に正しく使って、ものが燃える前と後の空気の変化を調べ、結果を適切に記録している。 ○ろうそくや木などの植物体が燃えると、空気中の酸素が使われ二酸化炭素ができることを理解している。	○ものの燃え方と空気の動きについて、問題を見だし、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。 ○実験結果から、気体の種類によるものを燃やすはたらきの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現している。	○ものの燃え方に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、燃焼のしくみを調べようとしている。 ○ものの燃焼のしくみについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
ヒトや動物の体	9	ヒトやほかの動物の体のつくりとはたらきについて興味・関心を持ち、消化、呼吸、循環および排出のはたらきについての学習を通して、児童が自らの体	○口から取り入れられた食べ物は、消化管を通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排出されることを理解している。	○だ液によるでんぷんの変化について考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。 ○血液の循環を、消化・吸収や	○ヒトや動物の体のつくりとはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○ヒトや動物の体のつくりとは
植物のつくりとはたらき	7	植物の体のつくりとはたらきについて興味・関心を持ち、根から取り入れられた水のゆくえや植物と空気の関係、植物が養分をつくるはたらきについての	○植物には、根から取り入れた水の通り道があることを調べ、結果を適切に記録している。 ○根や茎、葉には水の通り道があり、根から吸い上げられた	○葉まで運ばれた水がその後どうなるかについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○日光と葉のでんぷんについて、実験の結果から考察する	○植物の体のつくりとはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○植物の体のつくりとはたらき
生物どうしのつながり	6	生物どうし、および空気や水を通した生物のつながりについて興味・関心を持ち、養分や空気や水が自然の中を行き来していることについて理解を深めて	○ヒトは、植物や動物を食べ、動物の食べ物をたどっていくと植物に行きつくことを理解している。 ○顕微鏡を正しく使って、水中	○自然の中の生物も、食物連鎖でつながっていることについて、予想や仮説を発想し、表現している。 ○動物と植物が空気を通して	○生物どうしのつながりに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○生物どうしのつながりにつ
水溶液の性質	13	いろいろな水溶液を、溶けているものを調べたり、リトマス紙などを使って3つの性質にまとめたり、金属と反応するようすを調べたりする活動を通して、水	○水溶液や器具を目的に応じて用意し、安全に正しく使って、いろいろな水溶液の違いを調べている。 ○水溶液には、気体が溶けて	○5種類の水溶液の区別のかたについて予想や仮説をもち、自分の考えを表現している。 ○金属に薄い塩酸を加えたと	○身の回りの水溶液に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、水溶液の性質を調べようとしている。 ○水溶液の性質やはたらきに
月と太陽	5	月の位置や形の変化に興味・関心を持ち、月の輝いている側に太陽があることをとらえるとともに、月の形の見え方を太陽との位置関係から推論して追究	○月の形の見え方を調べるモデルの意味を理解して、ボールなどを目的に応じて用意し、正しく扱いながら調べ、適切に記録している。	○月の形や月と太陽の位置関係について、問題を見だし、予想や仮説をもとに解決方法を発想し、表現している。 ○モデル実験や観察をもとに、	○月の形の見え方に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○月の形の見え方の変化や月の表面のようすなどの学んだこ
大地のつくりと変化	15	地層などを観察し、地層のつくりやでき方について多面的に調べる活動を通じて、大地は長い年月と大きな空間的な広がりの中でつくり、変化してきたと	○地層のようすを調べる器具などを目的に応じて用意し、正しく扱いながら観察し、適切に記録している。 ○地層の構成物と、地層に重	○地層のようすや構成物について、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。 ○地層のでき方について問題	○大地のつくりと変化に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○大地のつくりと変化について
てこのはたらき	9	てこの手ごたえや、てこがつり合うときを調べる実験を通して、重いものを楽に持ち上げる方法や、てこがつり合うときの規則性についての考えをもつこ	○力点・作用点の位置を変え、てこを使うときの手ごたえを調べ、結果を適切に記録している。 ○実験用てこを使って、左右の	○てこを使って重いものを小さな力で持ち上げる方法について、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。 ○てこの手ごたえと支点・力	○てこのしくみやはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○てこの規則性について学ん
発電と電気の利用	13	電気はつくり出したり蓄えたりすることができることを知り、その電気をさまざまな器具に流すことによって、電気は、光、音、熱などに変えることができるこ	○手回し発電機などを正しく扱いつつ、発電のようすを調べ、適切に記録している。 ○光電池や鏡などを目的に応じて用意し、正しく扱いながら実	○発電について問題を見だし、乾電池と比較した予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。 ○光電池のはたらきについて	○発電と電気の利用に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○発電と電気の利用について
自然とともに生きる	4	ヒトやほかの生物と環境がどのようにかかわり合っているかを調べたり、身近な環境問題を調べたりして、生物と環境とのかかわりについての考えをもつこ	○ヒトは、環境とかかわり、工夫して生活していることを理解している。 ○資料などを目的に応じて選択し、ヒトの活動と環境が互	○身近な環境とのかかわりや与えている影響などの調べたことをもとに、より妥当な考えをつくりだし、自分たちの生活を見直そうとしている。	○身の回りの環境に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。

教科	理科	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準

学習内容	時間	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
春の生き物	8	春の生命の息吹の中で、動物の活動や植物の成長に興味・関心を持ち、1年間を通した観察計画を立てて継続観察を行い記録することから、生物を愛	○植物の成長のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○春の生き物のようすを理解し、観察記録を整理し、わかり	○春の生き物のようすについて、予想や仮説を発想し、表現している。 ○春の生き物のようすと季節の変化を関係づけて考察し、表	○春の生き物に進んでかわり、他者とかかわりながら、季節による違いを調べようとしている。 ○植物の成長に進んでかわ
天気の日の変化	5	晴れや曇り、雨の日に、1日の気温の変化を調べ、天気によって1日の気温の変化のしかたに違いがあることをとらえるようにする。	○温度計を正しく扱いながら、天気や1日の気温の変化のしかたを調べ、測定した気温などの結果をわかりやすくまとめている。	○1日の気温の変化と天気の様子について予想や仮説を発想し、表現している。 ○1日の気温の変化のしかたについて、観察の結果から考察	○天気の様子や1日の気温の変化に進んでかわり、他者とかかわりながら、天気や気温を調べようとしている。 ○天気と1日の気温の変化に
地面を流れる水のゆくえ	5	雨水の流れ方や浸みこみ方と地面の傾きや土の粒の大きさとの関係について追究する中で、生活経験等をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表	○水は高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。 ○粒の大きさと水の浸みこみ方の違いを調べる実験を、条	○低い場所に流れた水のゆくえについて、土のようすと関連づけながら、根拠のある予想や仮説を発想し、表現している。	○地面を流れる水のゆくえに進んでかわり、他者とかかわりながら、そのようすを調べようとしている。 ○水が地面を流れたり、浸みこ
電気のはたらき	7	乾電池の数や回路を流れる電流の大きさや向きと、モーターの回り方や豆電球のようすに着目し、それらを関係づけて電気のはたらきについて根拠の	○簡易検流計を正しく使い、回路を流れる電流の向きと、モーターの回る向きを関係づけて調べている。 ○乾電池の数やつなぎ方を変	○回路を流れる電流の向きとモーターの回る向きについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○乾電池2個のつなぎ方やモー	○乾電池とモーターを使ったおもちゃを動かすことに進んでかわり、他者とかかわりながら、乾電池のはたらきを調べようとしている。
夏の生き物	4	夏の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって継続して観察し、記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成	○植物の成長のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○夏になると、動物が活発に活動し、植物がよく成長することを	○乾電池の数やつなぎ方を変	○夏の生き物に進んでかわり、他者とかかわりながら、春の生き物のようすとの違いを調べようとしている。 ○夏の生き物について、学ん
夏の夜空	2	星を観察して、空には明るさや色が違う星があるという考えをもつことができるようにするとともに、星に対して興味・関心をもち、夜空に輝く無数の星に対	○方位磁針や星座早見などを正しく使って、星や星座を観察し、星によって明るさや色に違いがあることを理解している。	○方位磁針を正しく使って月の位置を調べ、月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。	○夏の夜空に輝く星に進んでかわり、他者とかかわりながら、観察しようとしている。
月や星の動き	6	月や星を観察して、その位置の変化を時間と関係づけて調べ、月や星の特徴や動きについての考えをもつことができるようにするとともに、天体に対する	○方位磁針を正しく使って月の位置を調べ、月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。	○月も太陽と同じように、時刻とともに動く予想や仮説を発想し、考えを表現している。 ○星の位置の変化を観察の結果から考察し、表現している。	○月の動き方について進んでかわり、他者とかかわりながら、月の動きを調べようとしている。 ○月や星の動きについて、学
とじこめた空気や水	6	空気を閉じ込めた袋や空気鉄砲を使った活動や、注射器に閉じ込めた空気を押し縮める実験を通して、閉じ込めた空気を押し縮めた時の現象について、主体	○空気を閉じ込めた器具を安全に正しく使って、閉じ込めた空気の性質を調べている。 ○閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力	○閉じ込めた空気を押し縮めたときについて、予想や仮説を発想し、表現している。 ○閉じ込めた水を押し縮めることができるかについて、実験の	○閉じ込めた空気を使った活動に進んでかわり、他者とかかわりながら、閉じ込めた空気の性質を調べようとしている。 ○閉じ込めた空気や水の性質
ヒトの体のつくりと運動	6	運動しているときのヒトやほかの動物の体の動きについて、骨や筋肉のはたらきと関係づけながら調べていくことで問題を見だし、興味・関心をもって	○自分の体を触ったり、骨の模型や映像などの資料を活用したりして、体を曲げられるところを調べている。 ○ヒトの体には骨と筋肉があ	○運動しているときのヒトの体の動きから、腕の中の骨がどのようになっているか予想や仮説を発想し、表現している。 ○ほかの動物の体のつくりや	○ヒトの体のつくりに進んでかわり、他者とかかわりながら、運動どのように関係があるかを調べようとしている。 ○ヒトやほかの動物の体のつく
秋の生き物	4	秋の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって継続して観察し、記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成	○植物の成長のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○秋になると、動物の動きは鈍くなり、植物は成長が止まった	○植物の成長のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○秋になると、動物の動きは鈍くなり、植物は成長が止まった	○秋の生き物に進んでかわり、他者とかかわりながら、季節による違いを調べようとしている。 ○秋の生き物について、学ん
ものの温度と体積	8	空気・水・金属は、温度が高くなると膨張し、低くなると収縮するといった、温度の変化と空気・水・金属の体積の変化との関係を見だし、中でも空気の	○空気はあたたまり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。 ○加熱器具などを安全に正しく使って、金属をあたたまり冷	○閉じ込めた空気をあたためるときについて、予想や仮説を発想し、表現している。 ○空気の温度と体積について、実験の結果から考察し、表	○容器に閉じ込めた空気をあたためる活動に進んでかわり、他者とかかわりながら、空気の性質を調べようとしている。
冬の夜空	2	星の観察を繰り返すことを通して、星の特徴や動きについての考えが深まるようにする。また、星の動きと時間とを関係づけて調べる能力が育つように	○冬の夜空にも、明るさや色の違う星があり、時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。	○冬の夜空にも、明るさや色の違う星があり、時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。	○冬の夜空に輝く星に進んでかわり、他者とかかわりながら、観察しようとしている。
冬の生き物	3	冬の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって継続して観察し、記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成	○植物のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○冬になると、動物は見られなくなり、植物はたねを残して枯れたり、枝に芽をつけて冬を越	○植物のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○冬になると、動物は見られなくなり、植物はたねを残して枯れたり、枝に芽をつけて冬を越	○冬の生き物に進んでかわり、他者とかかわりながら、季節による違いを調べようとしている。 ○冬の生き物について、学ん
もののあたたまり方	7	金属は熱せられた部分から順にあたたまりますが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体があたたまることとをとらえるようにする。また、ものには熱	○加熱器具などを安全に正しく使って、金属のあたたまり方を調べている。 ○金属は熱せられた部分から順にあたたまっていくことを理	○金属の一部を熱すると、どのようにあたたまっていくのかについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○水のあたたまり方について、	○フライパンを熱したときのようすに進んでかわり、他者とかかわりながら、金属のあたたまり方を調べようとしている。 ○もののあたたまり方につい
水のすがた	7	水は温度によって状態が変化し、水になると体積が増えるという考えをもつとともに、水蒸気や氷に姿を変える水の状態変化と温度とを関係づける能力	○加熱器具などを安全に正しく使って、熱したときの水のようすを調べ、わかりやすく記録している。 ○水を冷やし続けたときの温度	○水を熱したときに出る泡の正体について、実験の結果から考察し、表現している。 ○水を冷やしたときの状態について実験の結果から考察し、表	○水が氷になったり、水を熱すると湯気や泡が出たりする現象に進んでかわり、他者とかかわりながら、温度による水の状態変化を調べようとしている。
水のゆくえ	5	水は熱しなくても蒸発して空気中に出ていたり、目に見えない水蒸気が冷やされて再び水の姿で現れたりするという考えをもつことができるようにすると	○水の自然蒸発のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中	○水は熱しなくても、蒸発するかについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○空気中から水を取り出せるかについて、実験の結果から	○校庭やアスファルトの水たまりかについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○水が氷になったり、水を熱すると湯気や泡が出たりする現象に進んでかわり、他者とかかわりながら、水のゆくえを調べようとしている。
生き物の1年間	2	生き物を観察し、季節ごとの動物の活動や植物の成長を、興味・関心をもって調べた1年間の記録をもとに、季節による動物の活動や植物の成長の違い	○1年間の観察記録を生き物毎に整理し、季節と生き物のようすの関係について、わかりやすくまとめている。 ○動物の活動や植物の成長	○1年間の観察記録を生き物毎に整理し、季節と生き物のようすの関係について、わかりやすくまとめている。 ○動物の活動や植物の成長	○季節と生き物のようすに進んでかわり、他者とかかわりながら、特徴を調べようとしている。 ○季節と生き物のようすについ

教科	理科	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
花のつくり	2	アブラナの花のつくりを観察し、めしべ・おしべの特徴を調べることに、花びらが散った後、めしべのもとが育って実になり、中に種子ができることをとら	○虫眼鏡やピンセットなどの器具を目的に応じて用意し、正しく扱いながら、花と実のつくりを観察している。 ○アブラナの花には、1つの花		○花や実のつくりに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、花から実への変化を調べようとしている。 ○ヘチマに興味をもち、育て方
植物の発芽と成長	13	植物の発芽や成長のようすに興味をもち、見いだした問題を追究する活動を通して、発芽や成長にかかわる条件を関係づけでとらえるようにするととも	○植物の発芽に水が必要かどうかを調べ、実験の方法や結果を適切に記録している。 ○植物の発芽には、水・温度・空気が関係していることを理解	○植物の発芽について予想や仮説をもち、条件に着目しながら解決の方法を発売し、表現している。 ○植物の発芽について、実験	○植物の発芽や成長に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、それらの変化の条件を調べようとしている。 ○植物の発芽や成長について
メダカたんじょう	7	メダカを育て、雌雄の体の違いや受精卵のようすを観察し、発生の条件や過程をとらえられるようにする。時間の経過と関係づけで、発生や成長を調べる	○メダカを飼育して、雌雄の体の特徴などを観察し、結果を適切に記録している。 ○解剖顕微鏡などを目的に応じて用意し、安全に正しく使っ	○メダカの発生や成長について予想や仮説を発売し、観察を計画し、表現している。 ○メダカの発生や成長と、その変化にかかわる時間を関係づ	○メダカの卵の成長や雌雄の特徴について、進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら、自ら調べようとしている。 ○メダカの誕生について学んだ
ヒトたんじょう	6	動物の発生や成長に興味をもち、見いだした問題について資料を活用するなどの追究する活動を通して、ヒトの卵や胎児の成長のようすを時間の経過	○ヒトが母体内で成長していくようすを目的に応じて図鑑やインターネット、模型、養護教諭や医師へのインタビューなどの方法で調べている。	○ヒトの母体内での成長のようすについて予想や仮説を発売し、表現している。 ○ヒトの母体内での成長のようすについて、動物の発生や成	○ヒトの母体内での成長のようすに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、自らその変化や成長を調べようとして
台風と気象情報	3	日本の夏から秋にかけて、南の海上から北上してくる台風の動きや進路について、気象情報を活用してその特徴をとらえてまとめることができるようにす	○台風の動きと天気の変化についての資料などを目的に応じて選択し、テレビや新聞、インターネットなどを活用して情報を収集している。	○台風の動きと天気の変化を関係づけて考察し、自分の考えを表現している。	○台風の動きと天気の変化に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、生活経験を想起したり、調べようとして
花から実へ	8	植物の花のつくりや実のでき方に興味をもち、見いだした問題を追究する活動を通して、花の役割や受粉と結実との関係をとらえるとともに、生命を尊重す	○顕微鏡などの器具を目的に応じて用意し、正しく扱いながら、花のつくりや花粉を観察している。 ○植物の結実の条件について	○めばなどおぼなの花のつくりの違いについて問題を見いだし、表現している。 ○めしべやおしべの観察結果を考察する中で、おしべの花粉	○植物の花が実へと変化した、種子ができることに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○植物の受粉と結実について
月と太陽	5	月の位置や形の変化に興味・関心をもち、月の輝いている側に太陽があることをとらえるとともに、月の形の見え方を太陽との位置関係から推論して追究	○月の形の見え方を調べるモデルの意味を理解して、ボールなどを目的に応じて用意し、正しく扱いながら調べ、適切に記録している。	○月の形や月と太陽の位置関係について、問題を見だし、予想や仮説をもとに解決方法を発売し、表現している。 ○モデル実験や観察をもとに、	○月の形の見え方に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○月の形の見え方の変化や月の表面のようすなどの学んだこ
雲と天気の変化	7	雲の形や量、動きに着目して、それと天気の変化とを関係づけて調べ、天気の変化のしかたをとらえられるようにする。また、数日間の雲の動きを調べ	○空を観察しながら、1日の雲の量や動きなどを調べ、結果を適切に記録している。 ○天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解して	○天気の変化と雲の量や動きなどの関係について、予想や仮説をもとに、自らの考えを表現している。 ○収集した気象情報から考察	○雲と天気の変化に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、雲のようすを調べようとしている。 ○天気の変化は、わたしたちの
流れる水のはたらき	11	流れる水のはたらきと土地の変化に興味をもち、見いだした問題を追究する活動を通して、流れる水には地面を削ったり、石や土を運んだり積もらせたり	○目的に応じて器具を用意し、正しく扱いながら、流れる水のはたらきによる地面の変化を調べている。 ○流れる水には、地面を侵食し	○流れる水のはたらきについて、予想や仮説をもち、条件に着目しながら解決の方法を発売し、表現している。 ○実際の川での流れる水のは	○流れる水のはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、調べようとしている。 ○流れる水のはたらきについ
ふりこのきまり	6	振り子が1往復する時間に着目して、おもりの重さや振り子の長さなどの条件を制御しながら、振り子の運動の規則性を調べる活動を通して、それらにつ	○振り子の運動の規則性を調べる工夫をし、それぞれの実験器具を目的に応じて用意し、安全に正しく操作し、計画的に実験している。	○振り子の運動の変化とその要因について予想や仮説をもち、条件に着目して解決の方法を発売し、表現している。 ○振り子の運動の変化とその	○振り子の運動に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、振り子の運動の規則性を調べようとしている。 ○振り子の運動の規則性を利
もののとけ方	15	ものが水に溶ける量やようすに着目して、水の量や温度などの条件を制御しながら、ものの溶け方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解	○ものが水に溶けても、水とものを合わせた重さは変わらないことを理解している。 ○ものの溶け方の違いを調べる工夫をし、電子てんびんやメ	○ものの溶け方や溶けたもののゆくえんについて、発想した予想や仮説をもとに、条件に着目して解決の方法を発売し、表現している。	○ものを水に溶かすことに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、ものの溶け方の規則性を調べようとしている。
電流と電磁石	12	電磁石の導線に電流を流すと鉄を引きつけるようすから電磁石の性質について興味をもち、見いだした問題を追究する活動を通して、電磁石の極の性	○電磁石を正しくつくり、電流を流してそのはたらきを調べ、気づきや疑問を適切に記録している。 ○電流の流れているコイルは、	○電磁石のはたらきについて、永久磁石と比べることで問題を見だし、表現している。 ○電磁石に電流を流したときの極の変化とその要因について	○電磁石の導線に電流を流したときに起こる現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら電磁石のはたらきを調べようとしている。

教科	理科	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ものが燃えるしくみ	8	ものの燃焼のしくみについて興味・関心をもって多面的に調べ活動を通して、ものの燃焼と空気の変化とを関係づけて、ものの質的变化について推論する	○線香やろうそくなどを目的に応じて用意し、安全に正しく使って、空気の動きを調べ、適切に記録している。 ○気体検知管や石灰水などを	○ものの燃え方と空気の動きについて、問題を見だし、予想や仮説をもとに解決の方法を着想し、表現している。 ○実験結果から、気体の種類	○ものの燃え方に進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、燃焼のしくみを調べようとしている。 ○ものの燃焼のしくみについて
ヒトや動物の体	9	ヒトやほかの動物の体のつくりとはたらきについて興味・関心を持ち、根から取り入れられた水のゆくえや植物と空気の関係、植物が養分をつくるはたらきについての学習を通して、児童が自らの体	○口から取り入れられた食べ物は、消化管を通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排出されることを理解している。	○だ液によるでんぷんの変化について考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。 ○血液の循環を、消化・吸収や	○ヒトや動物の体のつくりとはたらきに進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○ヒトや動物の体のつくりとはたらき
植物のつくりとはたらき	7	植物の体のつくりとはたらきについて興味・関心を持ち、根から取り入れられた水のゆくえや植物と空気の関係、植物が養分をつくるはたらきについての	○植物には、根から取り入れられた水の通り道があることを調べ、結果を適切に記録している。 ○根や茎、葉には水の通り道があり、根から吸い上げられた	○葉まで運ばれた水がその後どうなるかについて予想や仮説を着想し、表現している。 ○日光と葉のでんぷんについて、実験の結果から考察する	○植物の体のつくりとはたらきに進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○植物の体のつくりとはたらき
生物どうしのつながり	6	生物どうし、および空気や水を通した生物のつながりについて興味・関心を持ち、養分や空気や水が自然の中を行き来していることについて理解を深めて	○ヒトは、植物や動物を食べ、動物の食べ物をたどっていくと植物に行きつくことを理解している。 ○顕微鏡を正しく使って、水中	○自然の中の生物も、食物連鎖でつながっていることについて、予想や仮説を着想し、表現している。 ○動物と植物が空気を通して	○生物どうしのつながりに進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○生物どうしのつながりについて
水溶液の性質	13	いろいろな水溶液を、溶けているものを調べたり、リトマス紙などを使って3つの性質にまとめたり、金属と反応するようすを調べたりする活動を通して、水	○水溶液や器具を目的に応じて用意し、安全に正しく使って、いろいろな水溶液の違いを調べている。 ○水溶液には、気体が溶けて	○5種類の水溶液の区別のかたについて予想や仮説を持ち、自分の考えを表現している。 ○金属に薄い塩酸を加えたと	○身の回りの水溶液に進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、水溶液の性質を調べようとしている。 ○水溶液の性質やはたらきに
月と太陽	5	月の位置や形の変化に興味・関心を持ち、月の輝いている側に太陽があることをとらえるとともに、月の形の見え方を太陽との位置関係から推論して追究	○月の形の見え方を調べるモデルの意味を理解して、ボールなどを目的に応じて用意し、正しく扱いながら調べ、適切に記録している。	○月の形や月と太陽の位置関係について、問題を見だし、予想や仮説をもとに解決方法を着想し、表現している。 ○モデル実験や観察をもとに、	○月の形の見え方に進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○月の形の見え方の変化や月の表面のようすなどの学んだこ
大地のつくりと変化	15	地層などを観察し、地層のつくりやでき方について多面的に調べる活動を通じて、大地は長い年月と大きな空間的な広がりの中でつくり、変化してきたと	○地層のようすを調べる器具などを目的に応じて用意し、正しく扱いながら観察し、適切に記録している。 ○地層の構成物と、地層に重	○地層のようすや構成物について、予想や仮説をもとに解決の方法を着想し、表現している。 ○地層のでき方について問題	○大地のつくりと変化に進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○大地のつくりと変化について
てこのはたらき	9	てこの手ごたえや、てがつり合うときの調べる実験を通して、重いものを楽に持ち上げる方法や、てがつり合うときの規則性についての考えをもつこ	○力点・作用点の位置を変え、てこを使うときの手ごたえを調べ、結果を適切に記録している。 ○実験用てこを使って、左右の	○てこを使って重いものを小さな力で持ち上げる方法について、予想や仮説をもとに解決の方法を着想し、表現している。 ○てこの手ごたえと支点・力	○てこのしくみやはたらきに進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○てこの規則性について学ん
発電と電気の利用	13	電気はつくり出したり蓄えたりすることができることを知り、その電気をさまざまな器具に流すことによって、電気は、光、音、熱などに変わることができる	○手回し発電機などを正しく扱いつながりながら、発電のようすを調べ、適切に記録している。 ○光電池や鏡などを目的に応じて用意し、正しく扱いながら実	○発電について問題を見だし、乾電池と比較した予想や仮説をもとに解決の方法を着想し、表現している。 ○光電池のはたらきについて	○発電と電気の利用に進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○発電と電気の利用について
自然とともに生きる	4	ヒトやほかの生物と環境がどのようにかわり合っているかを調べたり、身近な環境問題を調べたりして、生物と環境とのかかわりについての考えをもつこ	○ヒトは、環境とかかわり、工夫して生活していることを理解している。 ○資料などを目的に応じて選択し、ヒトの活動と環境が互い	○身近な環境とのかかわりや与えている影響などの調べたことをもとに、より妥当な考えをつくりだし、自分たちの生活を見直そうとしている。	○身の回りの環境に進んでかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。